

交換留学 説明会

2022年10月
国際プログラム推進課

ご注意

新型コロナウイルスによる渡航制限の影響について

本学では、日本の「外務省の定める危険情報および感染症危険情報においてレベル2未満となっていること」が留学条件です。

ただし、2021年度からレベル2と3の地域であっても学生が強い意志を持ち、保証人の承認を得て、複数の条件を満たす場合についてのみ、特例措置として留学を認めていました。2022年度においても同様に特例措置の条件を満たした場合に限り、留学を認めています。事前に条件をご確認ください。

＜特例措置のいくつかの条件＞

- ※原則、新型コロナワクチンの接種を3回完了していること。
- ※帰国後に、学業等へ影響を及ぼすような行動制限等が設けられていないこと。
- ※学生本人がプログラム参加への強い意志を持ち、保証人からの承諾が得られていること。
- ※以下2種類の誓約書を提出できること。（現時点で内容を確認し、保証人からも同意を得てください）

誓約書①「海外留学プログラム渡航誓約書」

<https://www.shibaura-it.ac.jp/extra/studyabroad/pledge.pdf>

誓約書②「新型コロナウイルス感染症の影響下における渡航についての誓約書」

<https://www.shibaura-it.ac.jp/albums/abm.php?d=4333&f=abm00020972.pdf&n=PLEDGE-COVID-19-2022-2.pdf>

（参考）外務省の定める危険情報および感染症危険情報レベル

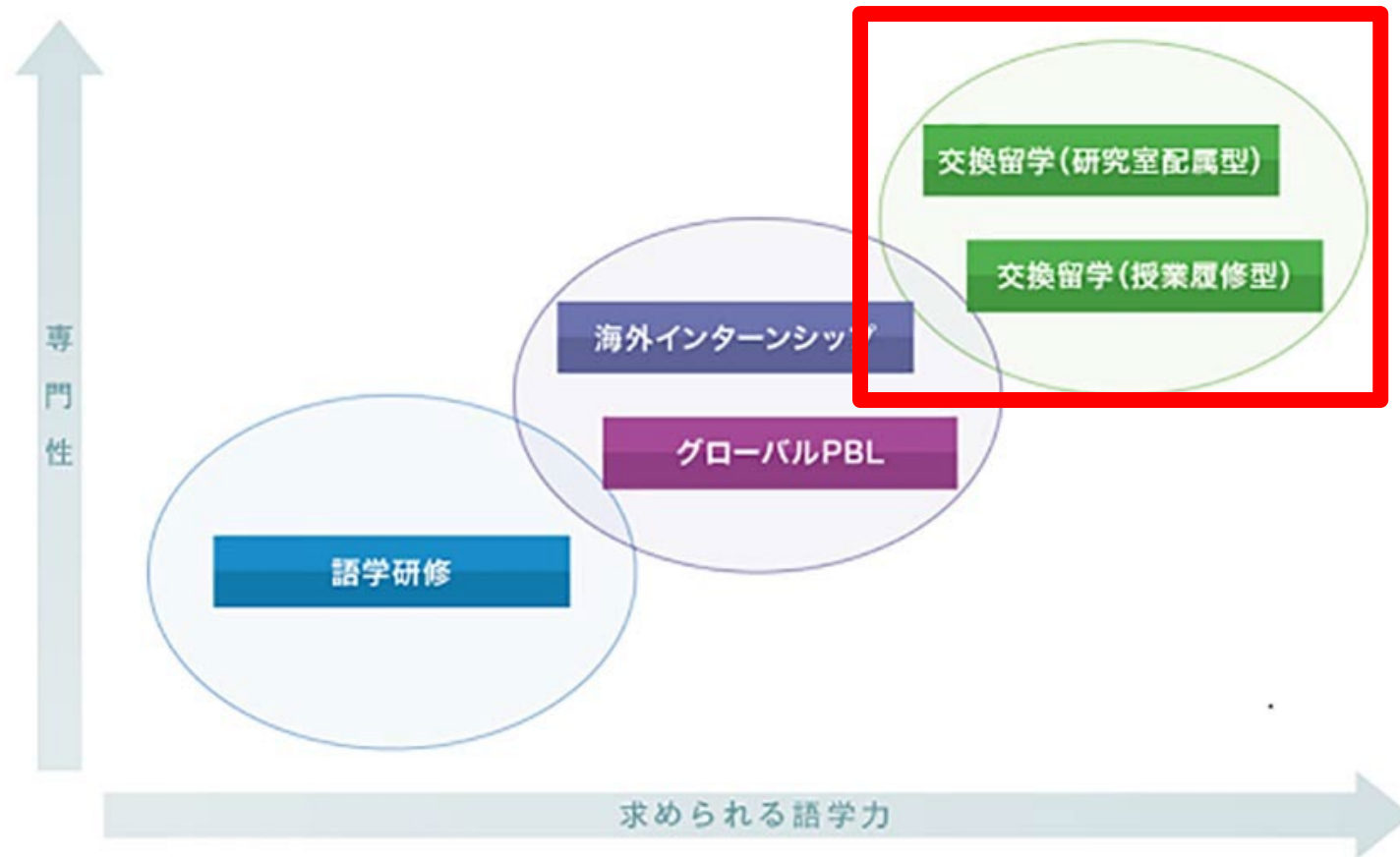
<https://www.anzen.mofa.go.jp/>

そもそも交換留学とは？

**交換留学とは一定以上の期間
海外に留学する長期プログラムです。
期間は3ヶ月～1年くらいが多く、
海外の大学で正規学生と同等に扱われながら在籍します。**

- 1) 授業履修型プログラム（海外協定校で専門科目を学ぶ）**
 - 2) 研究室配属型プログラム（海外の大学で研究活動を行う）**
-

プログラムの位置づけ①



交換留学とは…

英語を学ぶプログラムではなく、英語でさらに専門領域を深める、**一定の語学力と専門性**が求められるプログラムです。

プログラムの位置づけ②

	授業履修型	研究室配属型
対象学生	原則として渡航時点で学部3年生以上	原則として渡航時点で学部4年生以上
渡航期間	原則1～2セメスター (協定校の学年暦に従う)	2週間程度～1年の間で任意に設定可能
出発時期	秋(8-9月)もしくは春(1-3月)が多い(協定校の学年暦に合わせて渡航)	随時(各自で調整したタイミングで渡航)
留学先の選び方	英語開講科目を提供する協定校から選ぶ。 ※交換留学(授業履修型)の対象校リストの中から諸条件(自分が留学する時期に履修希望科目が十分に開講されているか、協定校が定める出願資格(英語力や成績)を満たしているか等)を踏まえて選択。	下記2つの方法があります。 ①指導教員のコネクションを基に海外留学する。 (受入可能な海外の研究室を紹介してもらう) ②研究室配属型プログラムを提供する協定校から選ぶ。 国際部が協定校を紹介するが、学生自身が協定校にコンタクトをとり受入の依頼をする。 履歴書や研究計画書を入念に準備し、受入の内諾を得られるようにアピールする必要があります。
申し込み	【応募期間】 秋出発：11月中旬～1月中旬 春出発：5月中旬～7月中旬 ※秋出発を希望の方は11月9日に実施する説明会にご参加ください。	期間が任意で設定できるため、明確な応募期間はありません。 随時、国際部や指導教員の先生にご相談ください。 ※渡航する3～4ヶ月前頃には、海外の大学とプログラム期間について合意ができていることが望ましいです。

**交換留学を通じて
得られるもの**

得られるもの①

コミュニケーション力

主体性

英語で専門分野を学ぶ
経験

海外の
友だち

多文化的な視点

問題解決能力

異文化
適応力

論理的思考力

忍耐力

第二の故郷

自立心/自律心

新しい自分

生きた
語学力

セルフマネジメント

計画立案/実行力

なぜ交換留学は成長に直結するのでしょうか？

それは、
今自分のいるコンフォートゾーン(快適な空間)を離れるプログラムだから



交換留学をおすすめする理由



芝浦工業大学 学長
山田 純(やまだ じゅん)

大学院生よ、 留学に挑め！ (就活にもメリット有り)



2022年10月

芝浦工業大学 キャリアサポート課 黒崎

目次

1. 大学院進学の特典(軽めに説明)
2. 留学生数の現状
3. 企業の意見(企業評価アンケート)

自己紹介: 黒崎 通介(KUROSAKI Michisuke)

大学生	2007.03卒業 (15年前)	大学卒業(文系・社会科学系) ・アジアの国際関係 / 環境問題のゼミ所属 ・2006年に1年弱、韓国へ交換留学 ・就活の軸は韓国 or 環境問題で活動
民間 企業	2007.04 ～2016 (9年半)	外資系電子部品専門商社 ・営業(液晶ディスプレイ)、半年 ・人事(人材育成 8年、採用 3年兼務、組織活性化) ・経理、1年
大学 職員	2017.04 ～2022.05現在 (5年)	芝浦工業大学職員 ・総務、半年 ・広報(ウェブサイト運営)、3年 ・キャリアサポート課 ← 今ココ、1.5年

【人事時代の仕事】

- 人材育成: 新入社員研修、中途採用入門教育、階層別研修、リーダーシップ研修
- 組織活性化: 社員満足度調査(働きがい)、オフィス移転レイアウト、運動会企画
- 採用: 新卒採用(会社説明会、面接運営)、中途採用

大学院進学の特典

◆ 就職活動までに

- 学部・・・3年間(学部3年間)の授業 + 学生生活
⇒ポテンシャル採用(入社後の“可能性”に期待)
- 大学院・・・5年間(学部4年間+院1年間)の授業+卒業研究
+ 研究成果の学会発表等 + 学生生活
(専門知識・プレゼン力・計画力・指導力・・・etc)

実力およびアピール度の差

⇒“即戦力”としての期待

※即戦力を求める傾向が年々高まっている

大学院進学の特典 ※昨年度参考※

大企業(東証一部・二部上場企業)比率

大学院卒: **54.6%**

学部卒 : **45.9%**

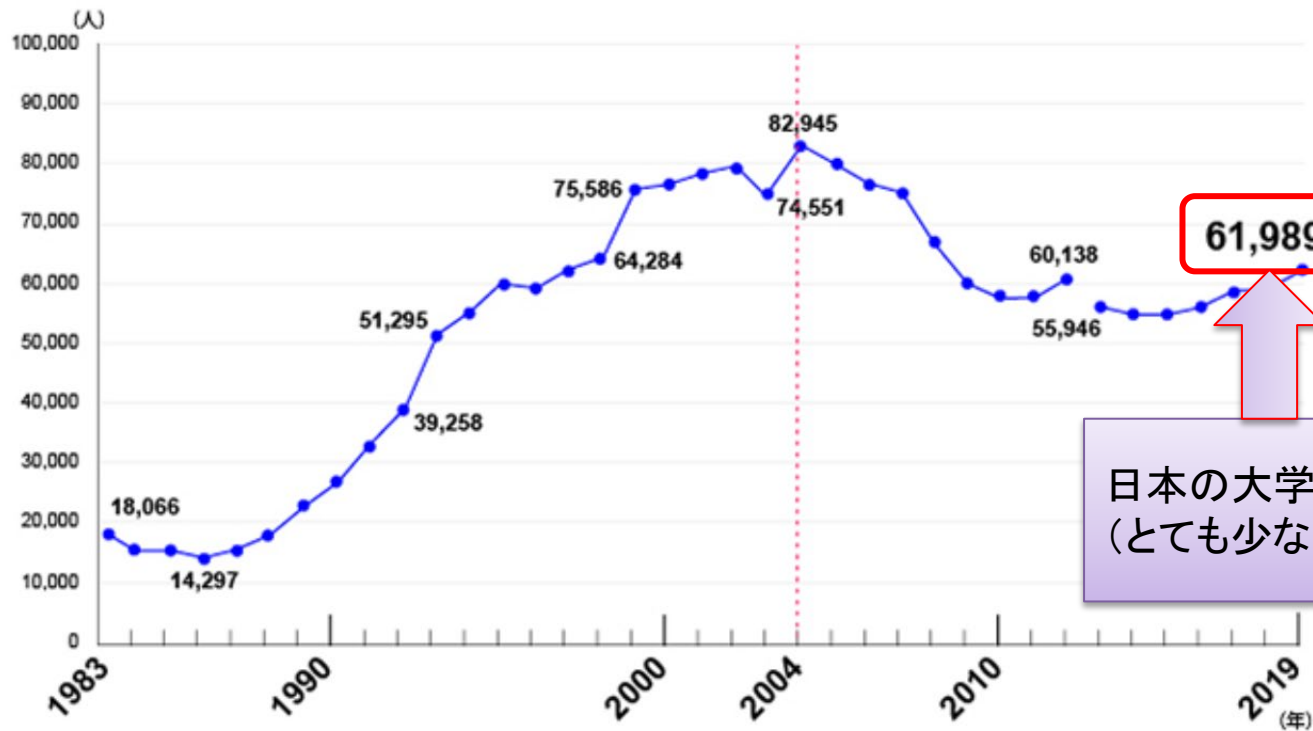
院卒学生を優先的に採用する企業も多数

研究開発・意匠設計・上流SE(コンサルタント)等、
自分の専門分野での活躍を希望するなら
大学院進学が有益

主要企業 理系学生採用実績（学部卒/修士卒）

業種	社名	※人数・比率は21卒or20卒の理系学生のみ（文系は含めず）			
		大卒（理系）	修士（理系）	大卒率	修士率
電気・ガス・熱供給・水道	東京電力ホールディングス	105	177	37%	63%
建設・住宅（設備関連）	住友電設	41	3	93%	7%
	関電工	64	1	98%	2%
製造（電気機器）	富士電機	47	112	30%	70%
	明電舎	13	34	28%	72%
	TDK	25	74	25%	75%
製造（輸送用機器）	トヨタ自動車	67	298	18%	82%
	本田技研工業	98	343	22%	78%
	日産自動車	57	198	22%	78%
	S U B A R U	111	120	48%	52%
製造（電子部品・デバイス・回路）	京セラ	54	227	19%	81%
	日本電産	113	107	51%	49%
	ミネベアミツミ	47	74	39%	61%
	アルプスアルパイン	40	48	45%	55%
情報通信	NTT東日本	67	98	41%	59%
	NTTデータ	75	236	24%	76%
	NTTコミュニケーションズ	42	92	31%	69%
	NTTドコモ	35	170	17%	83%
	KDDI	25	131	16%	84%
※就職四季報2022年版より抜粋				青色は大卒率 40%以上	ピンク色は修士 卒が60%以上

高等教育機関への留学者数の推移

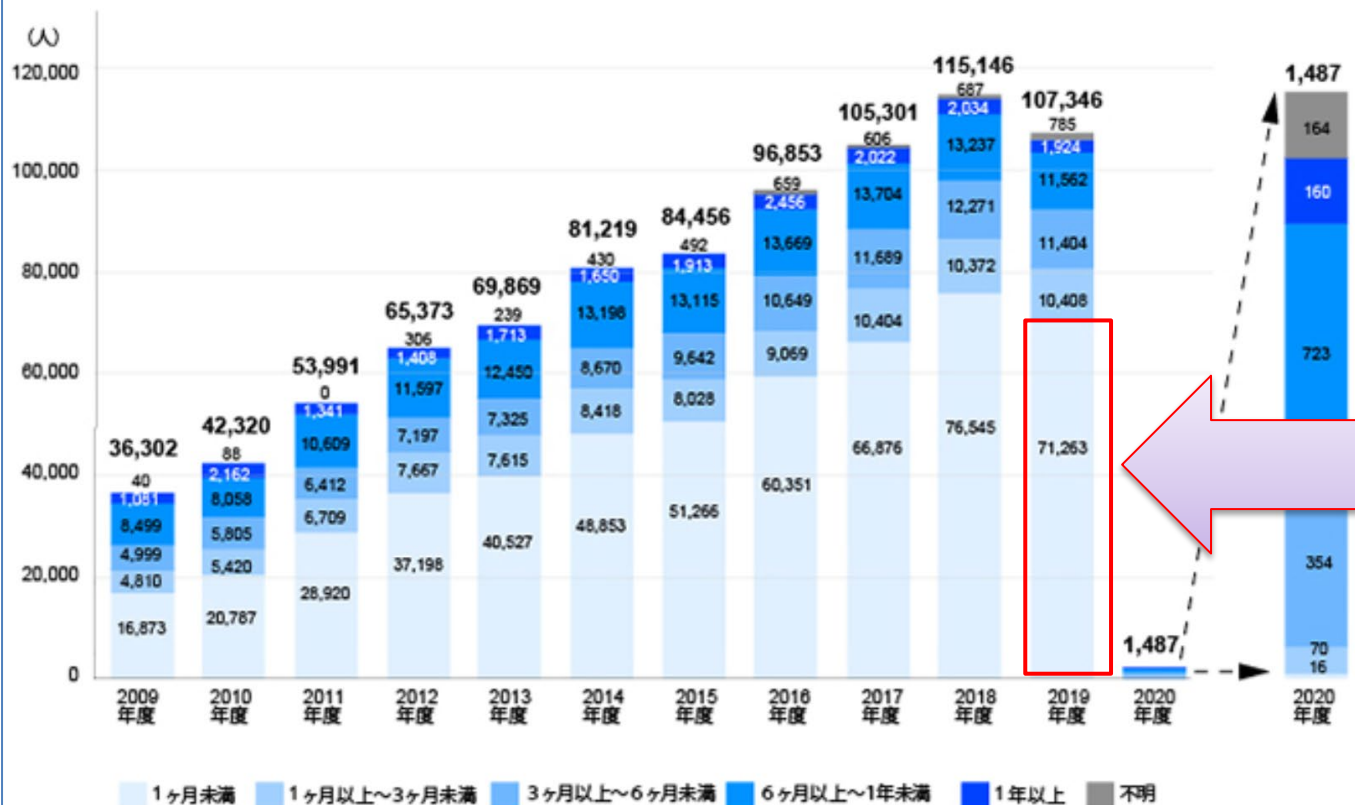


※2012 年統計までは、外国人学生（受入れ国の国籍を持たない学生）が対象だったが、
 2013 年統計より、高等教育機関に在籍する外国人留学生（勉学を目的として前居住国・
 出身国から他の国に移り住んだ学生）が対象となったため、比較ができなくなっている。

日本の大学生の2.3%
 （とても少ない貴重な経験）

- 日本の大学生の数(263万人、2021年度)
- 留学者の比率:2.3%(6/263万人)

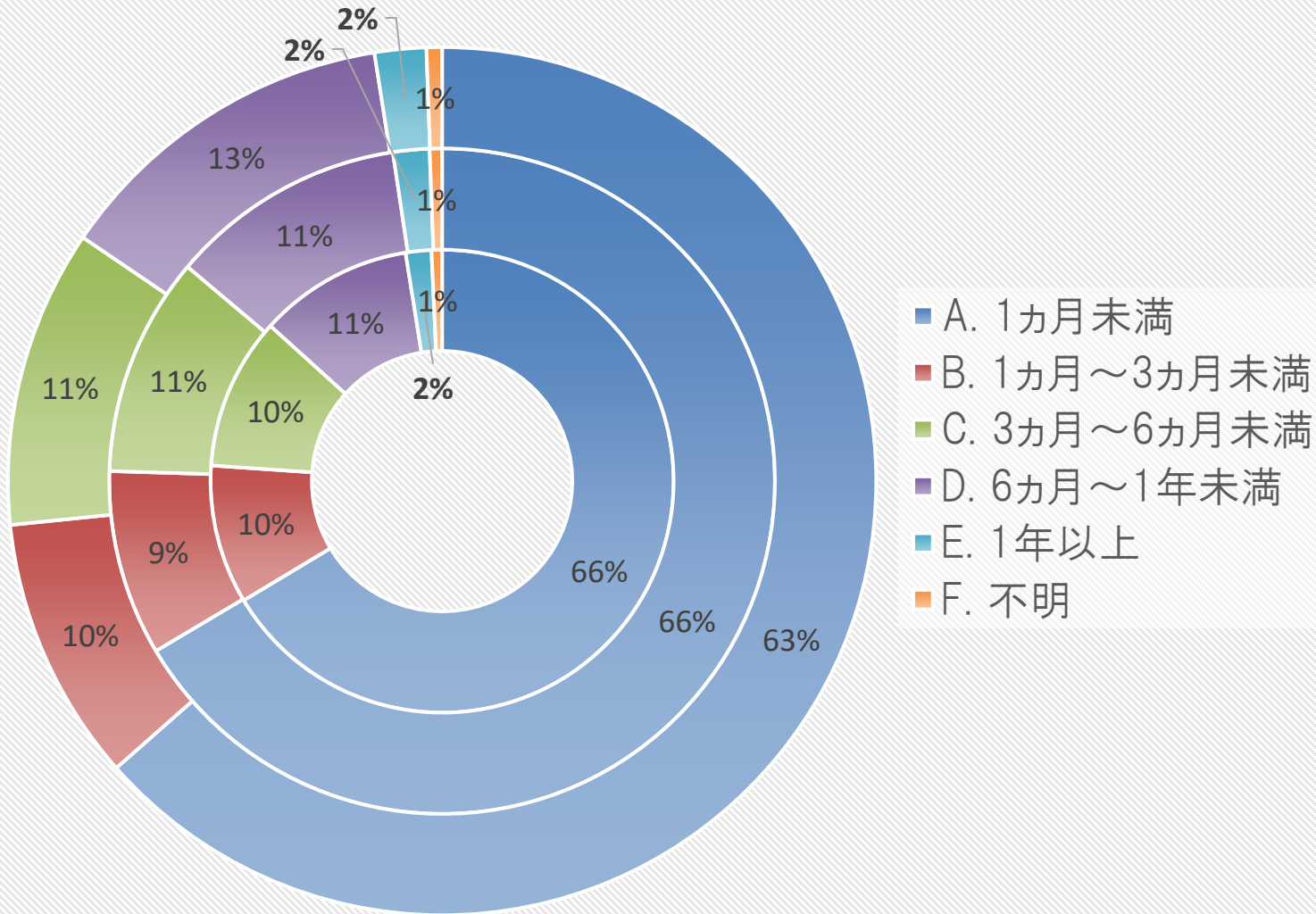
大学生の留学生数の推移



留学者の半数以上が1ヵ月未満

- 前ページ、高等教育機関への留学(6万人、2019年度)
- 本ページ、短期留学・語学留学・海外インターンシップも含む(10.7万人、19年度)
- 3ヵ月以上は約25,000人、日本の大学生の1%(25,000人/263万人)

2017～2019年度の期間別留学者比率 (外側円が2017年度)



- 留学者の6割以上が1ヵ月未満(短期留学・語学留学)

企業評価アンケート結果

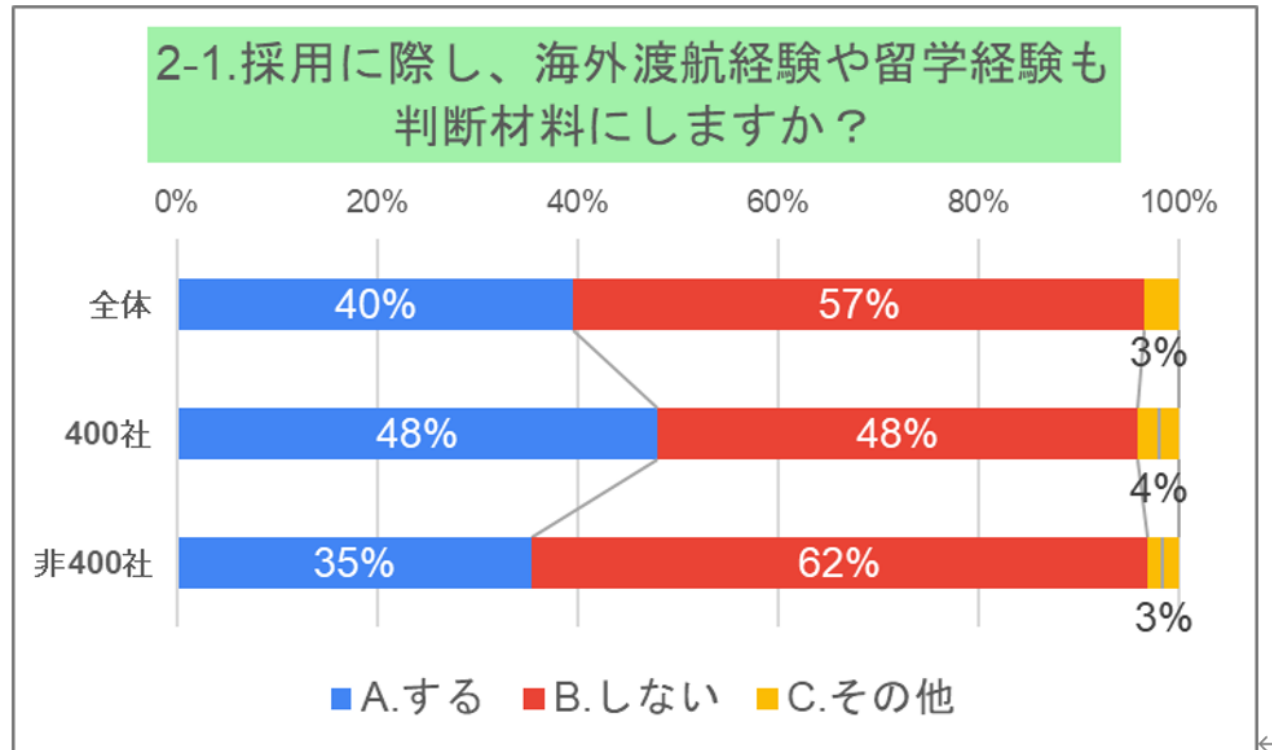
- 実施:2022年2月の業界研究会、同3月の学内合同企業説明会の参加企業へ実施
- 対象企業:304社(上記イベント参加企業)
- 有効回答数:149社(回答率49%)
- 400社率:50社/全149社

※アンケート回答は全体/400社/非400社の区分で分析

アンケート回答企業(例)

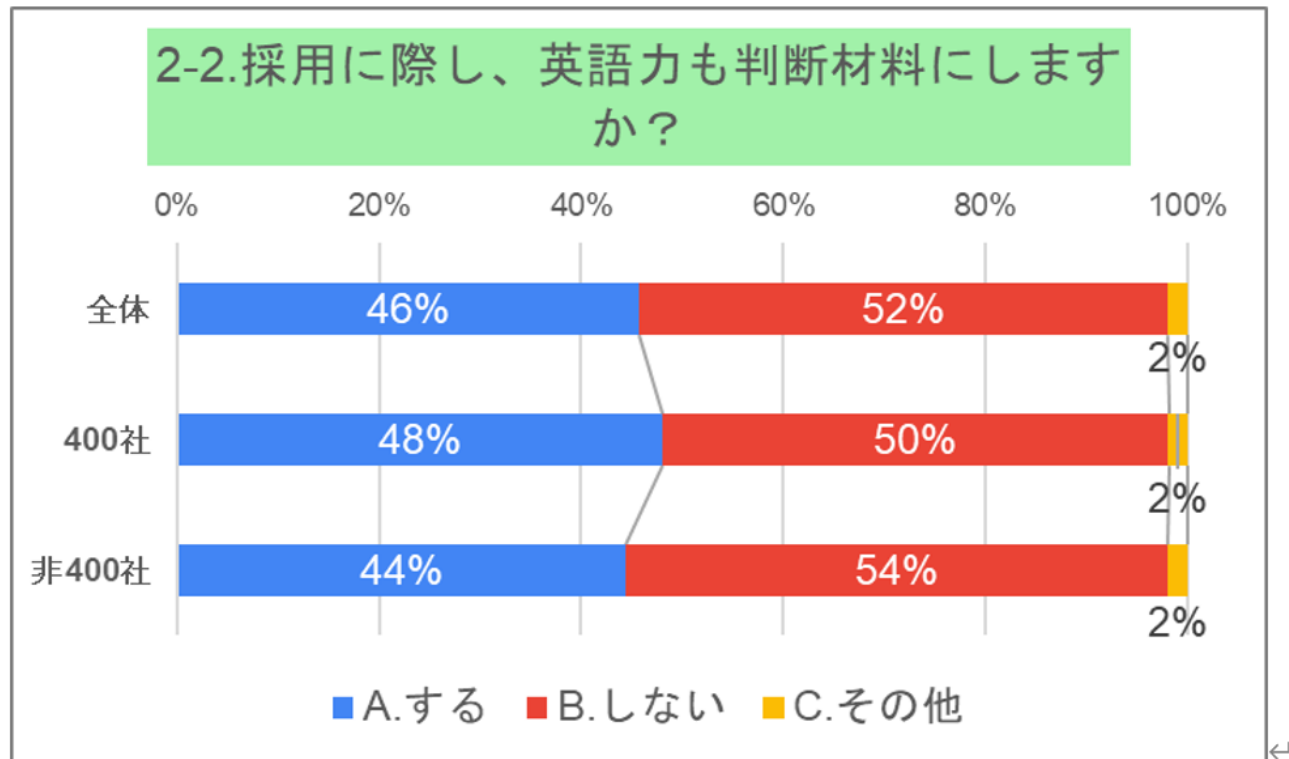
400社	いすゞ自動車、NTTコミュニケーションズ、岡三証券、カシオ計算機、キヤノン、京セラ、KDDI、大日本印刷、東京エレクトロン、東武鉄道、日本HP、NTT東日本、JR東日本、村田製作所、ロッテ
非400社	カプコン、NTTファシリティーズ、京浜急行鉄道、小糸製作所、さいたま市役所、新日本空調、丹青社、東プレ、ナビタイム、バンダイナムコスタジオ、ボッシュ、三菱鉛筆

(1) 採用に際し、海外渡航経験や留学経験も判断材料にしますか？←



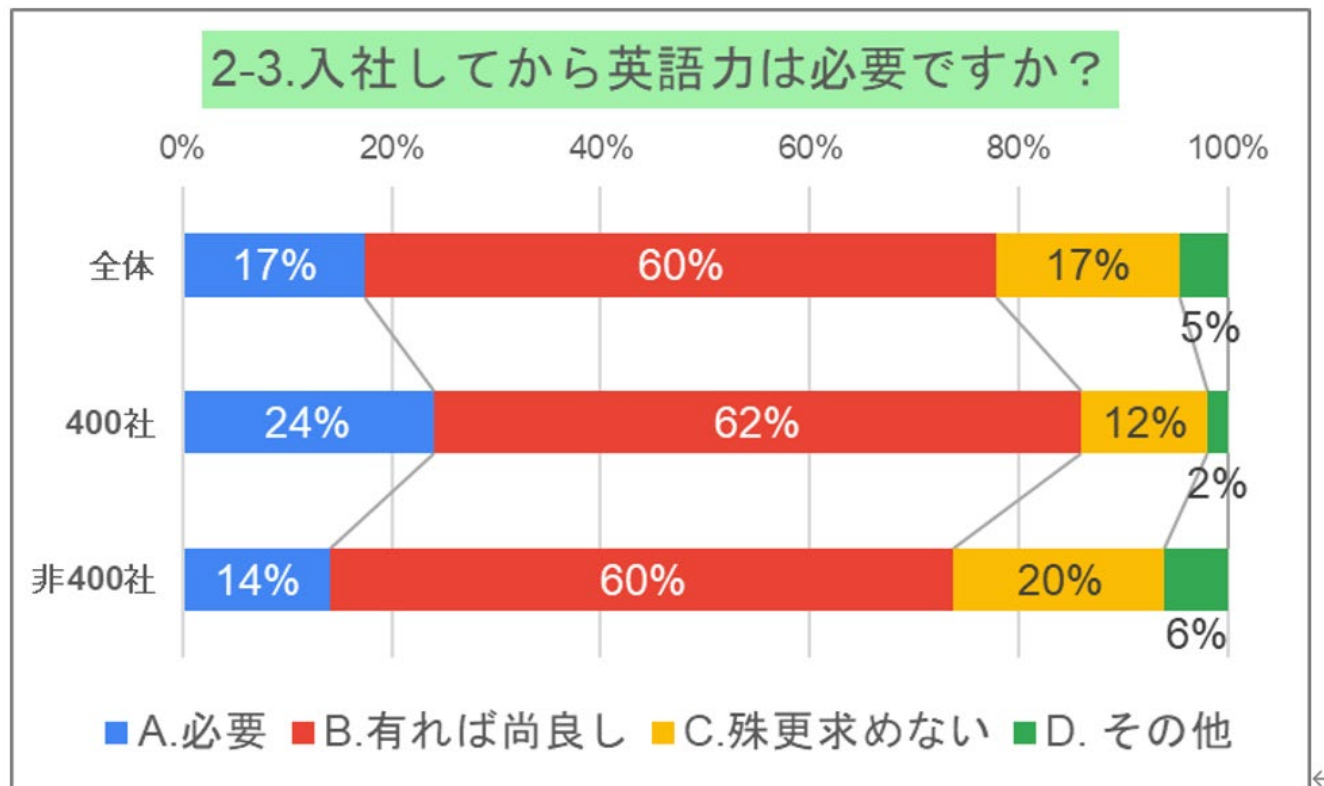
- 「A. する」回答にGAP有り。400社(48%)、非400社(35%)と13%高い。400社は海外渡航/留学経験を判断材料にする傾向有り
- 「留学経験の有無では判断しないが、経験から何を学んだのかは重要視する」という回答有り
- 「C. その他」は「配属部署による」、「1～3ヵ月の交換留学は強みではないが、1年以上の長期留学はポジティブに捉える」という回答

(2) 採用に際し、英語力も判断材料にしますか？←



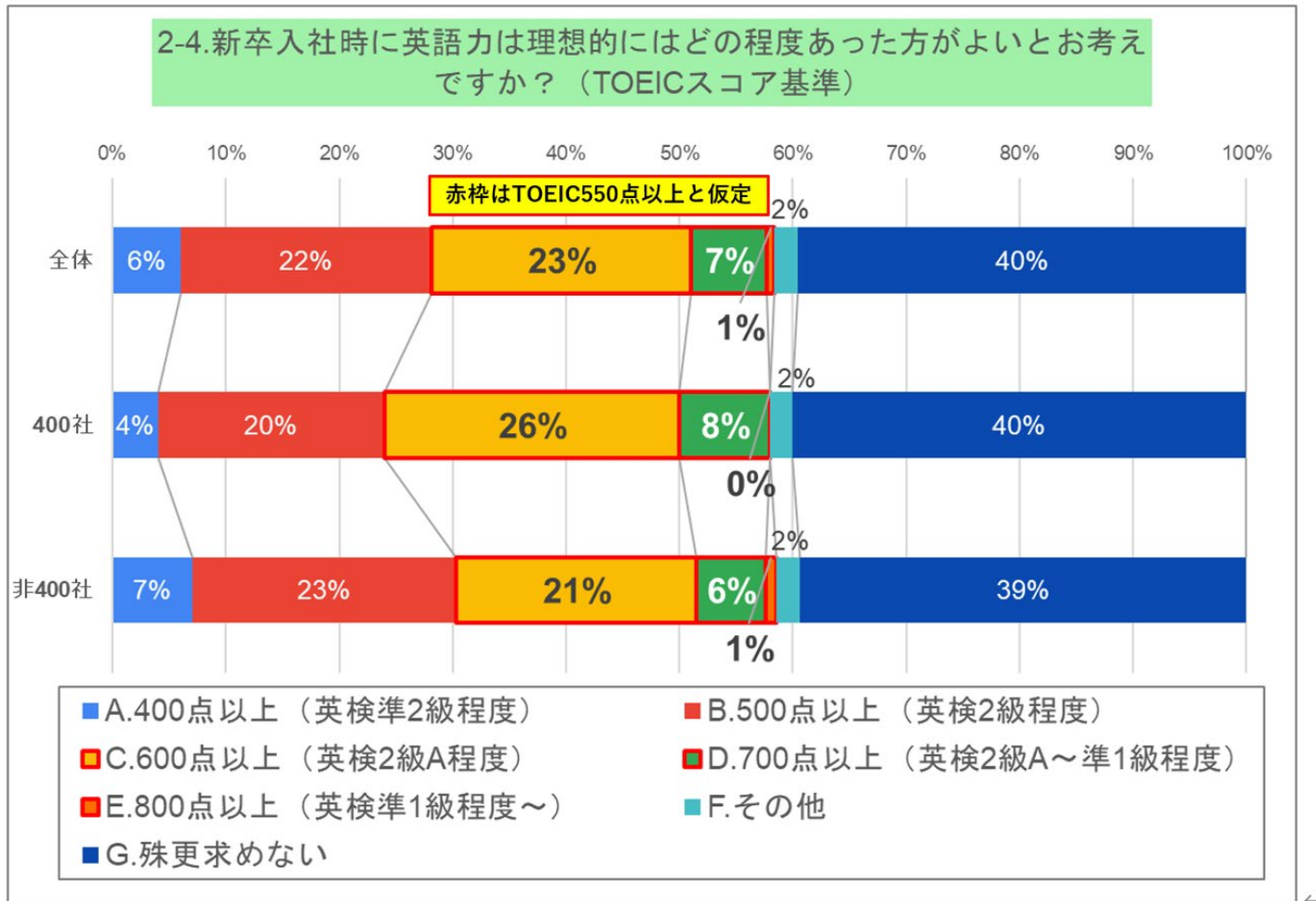
- 全体、400社、非400社の3区分で大差無し
- 全ての区分で46%の企業が「A.する」と回答しているため、英語力強化が就活において有利になる可能性は十分有り

(3) 入社してから英語力は必要ですか？←



- 3区分共に「B.有れば尚良し」が6割。理系学生に英語は必須とは言わないが、有れば良いと考える企業が大多数
- 400社は非400社より「A.必要」と回答が10%高い。400社就職率向上のためには英語力重要。

(4) 新卒入社時に英語力は理想的にはどの程度あった方がよいとお考えですか？ (TOEIC スコア基準) ←



- 「A.400点以上」、「B.500点以上」、「C.600点以上」の回答が全体の51%。半数の企業が400～600点台の英語力を希望
- 全体/400社/非400社共に「G.殊更求めない」が約40%、入社時に英語力が無くても良い(入社後の研修で英語力を習得可能)

英語力を求める企業

企業名	海外売上高	求めるTOEICレベル
村田製作所	92%	600点
日産自動車	85%	500点
キヤノン	78%	殊更求めない
トヨタ自動車	75%	600点
京セラ	61%	700点
日立製作所	50%	600点

企業が欲しい大学生

海外経験・語学力 多い	
③文系 語学OK	①理系 語学OK
④文系 語学苦手	②理系 語学苦手
海外経験・語学力 少ない	

- 芝浦工大生が目指す企業群が求めるであろう大学生イメージ
- 企業が採用したい順番(①、②、③、④) ※(例)海外進出するメーカー
- ①の学生が少なく、確保したいけど困難 → 市場価値が高い

最後のページ(メッセージ)

- 就活において留学経験は武器になる
- 就活のことは置いて・・・
- 留学経験は人生の糧になる(キャリアアンカー)
- 就活の話を抜きにしても、留学はオススメ！(大学生生活で最も濃い時間)

参加学生の声

留学に行くまでは、私なんかが海外でやってけるかと不安に思っていました、**実際に参加して後悔するようなことは全くありませんでした。**

学生期間が自分の時間を一番自由に使え、**いろんなことに挑戦できる時期**です。

今後多国籍の人と関わりを築くなかで、色々な考え方や文化を知っているということは大いに役立つはずです。**留学を迷っている学生は是非挑戦してください。**

交換留学は学生生活を送る今しか体験できないことなので、**一度だけでも参加することを強くおすすめします。**

正直コロナ渦での留学は大変でした。

でもだからといって怯えて留学を諦める必要はないと思います。留学に本気で行こうと思っていれば余程の事ではない限り実現可能です。

不安だったり手続きが面倒だったりしますが、それを**上回る価値**があると思います。

当初は英語力もないまま行くことにとても不安があったが、いざ留学してみると英語しか通じない環境になるため、**自然と英語が身につくようになった。**

行くか悩んでいるんだったら行くべきです！行ったらなんとかなります。

機械工学専攻
栗木 理志さん
伊藤 大悟さん



UNIVERSITY OF
LINCOLN

応募手続きについて

学内出願に必要な資格

・出願するには以下の出願資格をすべて満たしている必要があります。

1. 本学の学部または大学院の正規過程に在籍している学生であること

※原則として留学開始時に学部4年次以上の学生が対象です。

2. 留学後、本学にて学業を継続し学位を取得する意図があること

※留学期間中に卒業(修了)、退学、除籍の予定のある学生は要件を満たしません。

3. 成績基準および英語力基準を満たしていること

※出願時点における直近期および累積の成績評価係数が3.00ポイント満点中2.00以上でありかつTOEICスコア400以上であること。成績評価係数は成績通知書に記載されているGPA(4.00ポイント満点)とは異なります。算出方法は以下にて確認ください。なお成績基準と英語力基準を満たしていない場合も出願可能ですが、英語での質問を含む面接試験を行い適正を確認します。対象者には別途メールでお知らせします。

https://www.shibaura-it.ac.jp/global/overseas_program/scholarship.html

4. 留学先研究室から受入の内諾を貰っていること。(追って説明いたします)

※必ず所属研究室の先生、学生課/大学院課にもご相談ください。

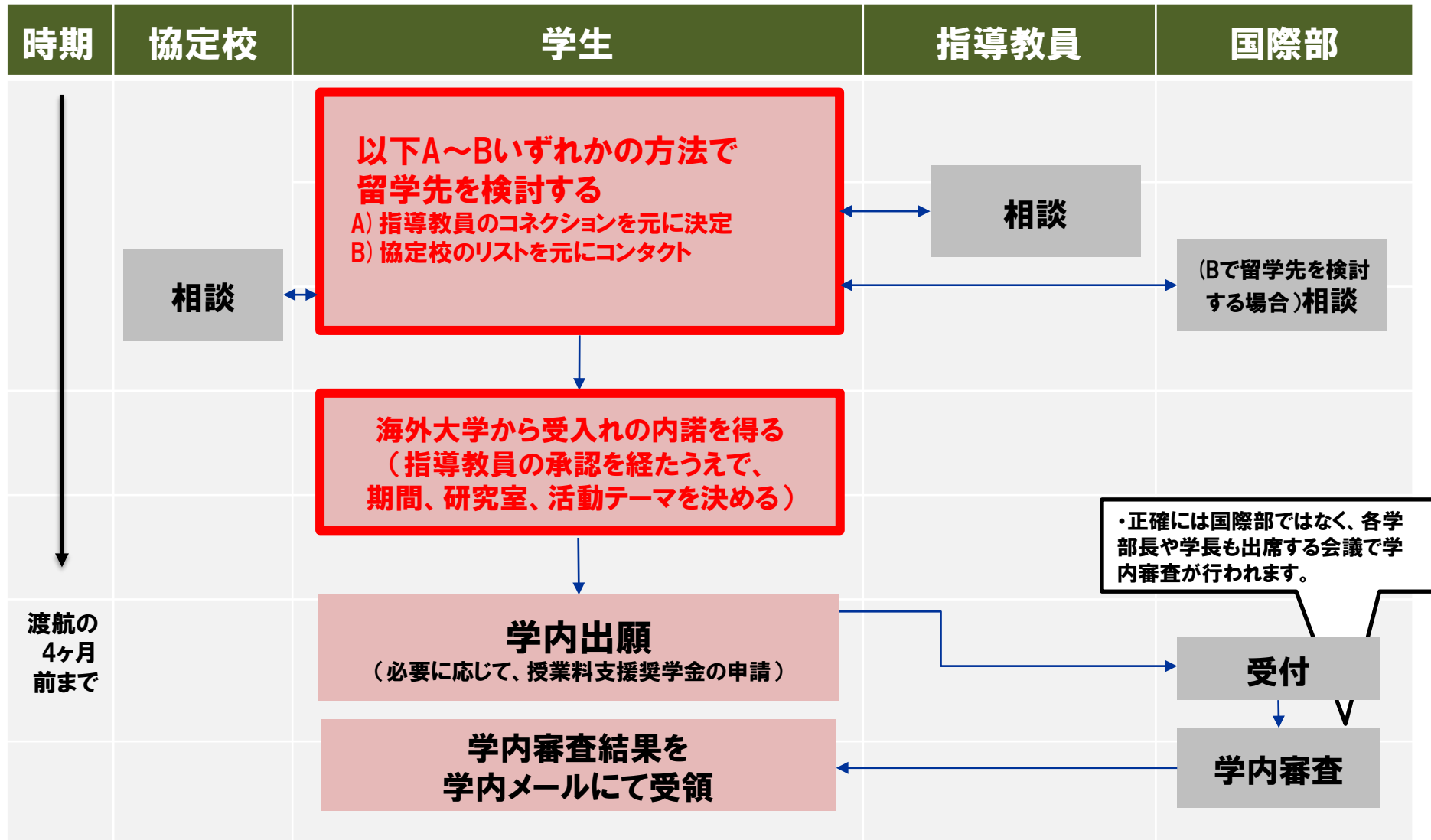
5. 留学の実現に向けて自ら主体的に考え行動できる学生であること

※留学前後の学習・進路の計画(休学の要否の判断や就職活動への影響など)について自ら主体的に考えることができること。また各種手続き(協定校への出願、ビザ申請などの渡航手続き、学内諸手続)を自ら主体的に行えること。

6. 保証人の承諾を得られること

協定校からの受入内諾+学内出願の流れは？

研究室配属型のプログラムにおいて、一番大切なことは海外大学から受入れの内諾を得ることです。A～Bいずれかの方法で留学先を選び、受入の内諾を得てください。



留学先の決め方は？

段階	詳細
(1) 留学 先を決 める	以下A,Bのいずれかの方法で交換留学先を選定してください。 <u>(A) 指導教員から海外の大学を紹介してもらってください。</u> 指導教員が海外の大学とコネクションを有する場合があります。交換留学(研究室配属型)に興味を持った場合は、まず指導教員に紹介できる海外の大学がないか確認しましょう。派遣先大学の教員と関係性があると受け入れられやすく、また渡航時や帰国時の研究活動にギャップが発生しづらいです。 または、 <u>(B)「交換留学(研究室配属型)対象校リスト」を参考に協定校にアプローチする。</u> https://www.shibaura-it.ac.jp/global/dispatch/program/long_term.html このリストは、研究室配属型のプログラムに関して、国際部が協定校にヒアリングした結果をまとめたものです。 協定校によっては、International officeが主導して学生と研究室をマッチングさせる、①International office主導型の大学もあれば、学生自らが研究室教員にアプローチして受入の内諾を得ることが求められる、②研究室へ直接アプローチ型の大学もあります。 B-②のハードルが一番高いため、A→B-①→B-②の順番にアプローチすることをおすすめいたします。 ※対象校リストに書いてある内容はあくまでもヒアリング時点のものです。最新の公式情報を必ず入手するようにしてください。 ※本リストと協定校の公式ウェブサイトの内容に相違があった場合は後者が正規情報となります。 ※協定校の公式ウェブサイトを確認することなしに留学希望先を決めることは絶対にしないでください。 <u>※体験談や協定校紹介コンテンツも参考にしてください。</u> https://www.shibaura-it.ac.jp/global/dispatch/report.html
(2) 精査	<u>大学公式ウェブサイトや協定校のコンタクトパーソンに情報を確認しましょう。特に以下の3点にご注意ください。</u> <u>①出願資格について</u> ・海外の大学が定める出願資格を満たしているか？特に語学力と学業成績は、協定校へ出願する時に証明書の提出を求められる場合があります。(求められない場合もあります) <u>②プログラムの期間や活動内容について</u> ・プログラム期間や活動内容については留学先の教員に必要事項を確認し、認識に齟齬がないようにしましょう。 <u>③協定校に支払う費用について</u> ・研究室での活動料(Program fee)については多くの協定校で免除になりますが、その他の費用として「Registration fee」「Facility fee」「Student Service fee」等が発生することがあります。円換算で1～5万円程度であることが一般的ですが、米国の場合は高額な場合もあります。大学公式ウェブサイトでよく確認してください。

海外の大学にコンタクトするときは

A) 所属研究室の教員の関係性に基づき、研究室配属型プログラムを行う場合、指導教員の指示に従い、海外の大学にコンタクトを取ってください。

B) 国際部が用意した対象校リストをもとに協定校にコンタクトする場合、まず国際部(study-abroad@ow.shibaura-it.ac.jp)までご連絡ください。

件名は下記のとおりお願いいたします。

本学国際部へのメール件名:「**研究室配属型交換留学について(学籍番号 氏名)**」

※渡航時期、希望留学先(大学名)についての情報を記入ください。

国際部では、皆様が海外の大学にコンタクトするときのフォーマットを用意しています。指導教員のコネクションを使わず、対象校リストをもとに海外の大学にアプローチする場合は、国際部で用意したひな形をご利用ください。

- ・メール文面
- ・ Motivation letter
- ・ CV
- ・ 指導教員からの推薦状（指導教員の先生に作成をお願いしてください）

**皆さんは芝浦工業大学の代表として先方の大学にコンタクトすることになります。
くれぐれも失礼のないように連絡するようお願いいたします。**

学内出願の流れは？

海外の大学から受入の内諾を得た後に、学内の出願に進んでください。

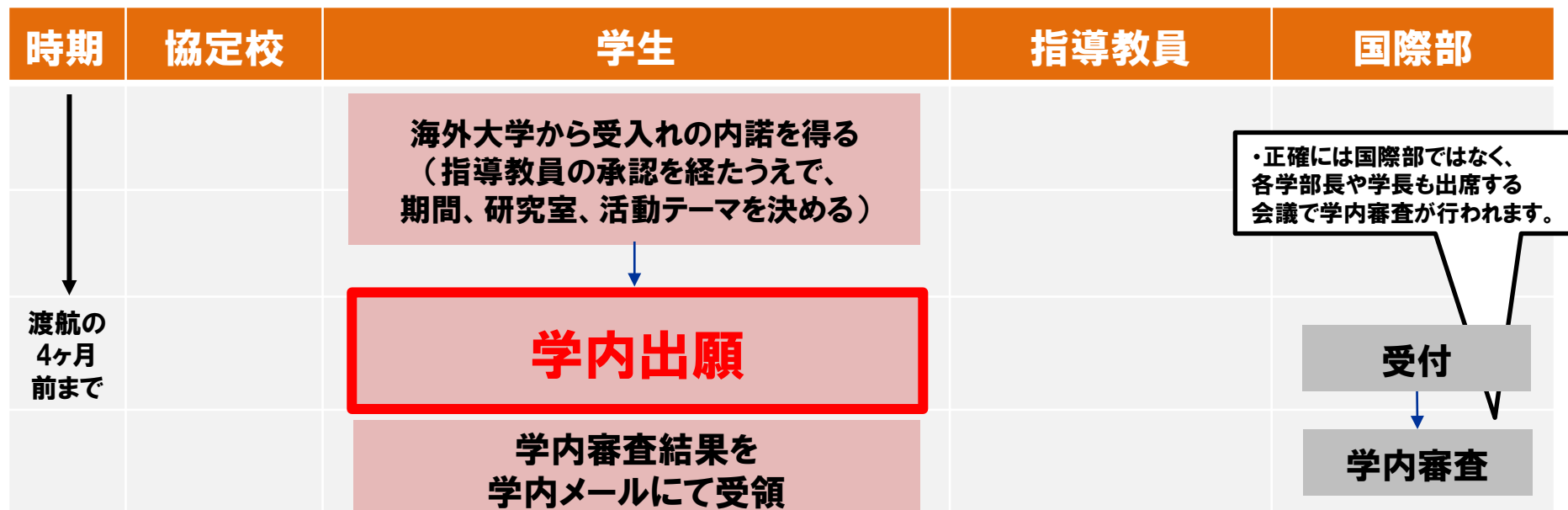
(学内出願の目安は渡航の4ヶ月前)

■学内出願のSTEP:

国際部へGoogle Formを送信【必須】

■学内出願エントリーフォーム <https://forms.gle/Yfd2mGSPwgxSamJ36>

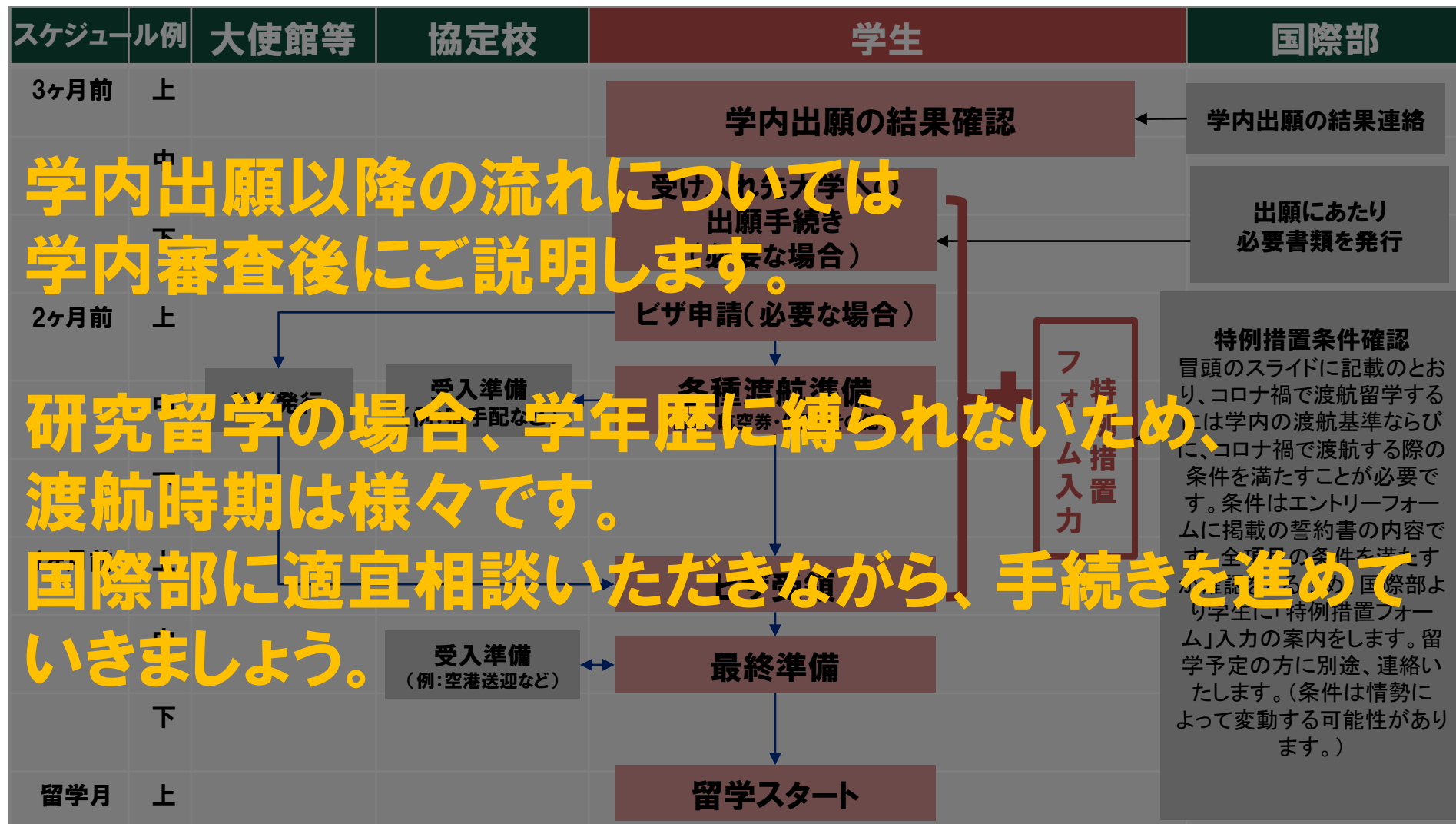
手続きの重要性や奨学金制度について理解したことをご確認いただくため、上記フォームよりエントリーしてください。



渡航までの流れ・使用するフォームについて(まとめ)

時期(目安です)	事項
～4ヶ月前まで	海外の大学から受入の内諾を得る 海外の大学で研究活動を希望することをSITの指導教員に相談ください。 その上で海外の大学にコンタクトを取り、受入の内諾を得てください。 【留学先の決め方および留学先へのコンタクト方法】 └A)所属研究室の教員の関係性に基づきコンタクトする(先生に紹介してもらう) └B)本学の協定校のリストに基づきコンタクトする(自ら協定校にアプローチする) ※Bの場合でも、協定校のInternational officeが研究室探しをサポートする大学もあります。 詳細は後述します。
4ヶ月前	学内出願 Google Formで国際部にエントリーを行ってください。 申請内容に基づき、毎月末に定期的に行われる学部長・研究科長会議にて大学としての渡航審議および奨学金審議を行います。 ■学内出願エントリーフォームhttps://forms.gle/Yfd2mGSPwgXSamJ36 ■海外留学授業料支援奨学金申請フォーム【該当・申請する場合のみ】 https://forms.gle/dzDJuma36zUiZvsKA
3～1ヶ月前	渡航予定大学との正式手続き & 渡航準備 必要に応じて、海外大学への出願手続きを進めてください。海外の大学にコンタクトを取りながらビザ申請、航空券手配等の渡航準備を進めてください。進捗は「進捗確認フォーム」の入力を通じて国際部に報告してください。 ■進捗確認フォーム 学内出願の審査を通過された方に、国際部より連絡いたします。 コロナ禍での渡航留学の際は特例措置としての留学条件を確認するため、提出を必須としています。特例措置条件はエントリーフォームに掲載の誓約書に記載の内容を予定していますが、今後のコロナ等の情勢によっては条件が変動する可能性もございます。
留学開始月	留学開始 ■渡航中フォーム 学内出願の審査を通過された方に、国際部より連絡いたします。

学内出願後の流れ(出願手続きから渡航まで)



お役立ちサイト

グローバル

Global

本学の取り組み

学長メッセージ
グローバル化の歩み
実績
海外協定締結校
推進プロジェクト

海外派遣プログラム（オンライン含む）

海外派遣プログラム概要
プログラム紹介
語学研修
グローバルPBL
海外インターンシップ
交換留学
協定校等主催プログラム
留学時に利用できる奨学金
海外協定校情報・留学体験談等
留学時の注意
教職員の海外派遣実績

海外派遣プログラム（オンライン含む）

海外派遣プログラム概要

プログラム紹介

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学

協定校等主催プログラム

留学時に利用できる奨学金

海外協定校情報・留学体験談等

留学時の注意

教職員の海外派遣実績

お役立ちサイト(交換留学ページ内)



面談の方法

国際部では随時希望者と面談を行っています。

興味がある方は下記からお申し込みください。担当者とZOOMで面談を行えます。

(本学アカウントからアクセスしてください。)

<https://forms.gle/yA9ybwVYfxZ8JGAcA> 



申込み方法

募集説明資料をご確認のうえ、渡航の3~4ヶ月前を目安に、受入研究室を確定させた上で、以下のGoogleエントリーフォームより国際部に申請してください。

非協定校であっても留学は可能ですが、研究室配属型プログラムを実施している協定校を”対象校リスト”にまとめています。宜しければご確認ください。

(本学アカウントからアクセスしてください。)



エントリーはこちらから



募集説明

※説明会は2022年5月に実施したものです。手続き等に変更はありませんが、ご不明な点がございましたら国際部までお問い合わせください。

- [交換留学（研究室配属型）説明資料.pdf\(1.5 MB\)](#) 
- [募集説明会動画はコチラ](#) 



交換留学（研究室配属型）対象校リスト

- [交換留学（研究室配属型）対象校リスト_202210.xlsx](#) 

よくある質問

奨学金について

Q:学内の奨学金制度は何がありますか？

(1) 芝浦工業大学海外留学奨学金

協定校への留学の場合は芝浦工業大学海外留学奨学金が利用可能です。

正規課程在籍の日本人学生であれば全員が対象となる奨学金制度です(留学生の場合でも正規学生であれば、普段利用している奨学金との併用条件を満たせば対象となる場合があります)

月額4万円～10万円(渡航先の国・地域や成績により金額は異なります)を渡航月数に渡り支給します。詳しくはウェブサイトをご確認ください。https://www.shibaura-it.ac.jp/global/overseas_program/scholarship.html

※本奨学金は、交換留学エントリーフォームの提出によって申込みをしたことになりますので、別途手続きは不要です。

■ 研究室配属型 交換留学エントリーフォーム

<https://forms.gle/Yfd2mGSPwgxSamJ36>

(2) 海外留学授業料支援奨学金申請 (※該当・申請する場合のみ)

優秀な学生が休学を伴わず協定校に留学する場合に、協定校に支払う授業料の全額または一部を支援する奨学金制度です。研究室配属型の場合でも、プログラム費用が掛かる場合には、こちらの奨学金が利用できる場合があります。

申請を希望する方は

■ 海外留学授業料支援奨学金申請フォーム【該当・申請する場合のみ】

<https://forms.gle/dzDJuma36zUiZvsKA>

Q:その他の奨学金制度はありますか？

・企業、財団、地方自治体などが、長期留学する学生を支援するために奨学金制度を設けている場合があります。各自で情報収集してお申込み下さい。

※学外奨学金額の月額換算額が、「芝浦工業大学海外留学奨学金」の奨学金月額を超過する場合、「芝浦工業大学海外留学奨学金」は支給されませんので、採択された場合は国際部に詳細を報告してください。

留学先が非協定校の場合

Q:本学での指導教員が受入大学を紹介してくれたのですが、本学の協定校ではないようです。留学は可能でしょうか？また芝浦工業大学海外留学奨学金も受け取れますか？

・芝浦工業大学海外留学奨学金は協定校への留学を対象とした制度のため、非協定校に留学する場合は、対象外となります。ただし、本学の教員の紹介を経ての研究室配属型交換留学をする場合、渡航に先だって留学先大学と本学が協定を結ぶことができれば、奨学金受給の対象となります。そのため、留学予定先が非協定校の場合は、決まり次第、国際部に相談してください。協定が結べるか確認いたします。

留学費用について

Q:留学費用はどのくらいかかりますか？

渡航先や渡航期間によって様々なため一概に金額を提示できませんが、以下に主な費用項目を記載します。参考にして各自で資金計画を立ててください。

協定校へ払う費用	・授業料(Tuition fee)については多くの協定校で免除になりますが、米国やオーストラリア等の協定校には授業料がかかる場合があります。授業料が免除となる場合でも、「Registration fee」「Facility fee」「Student Service fee」等が発生するのが一般的です。1～5万円程度であることが一般的ですが高額な場合もあります。また、研究型の場合は、研究に必要な実費(機材購入費、研究材料購入費、機械利用料など)を請求される場合もありますので事前に協定校の受入教員に条件を確認してください。
渡航費(主に航空券代)	航空会社、行き先、直行便/経路便の別、時期や時間帯により様々です。 ※新型コロナウイルス等の影響で不確実性が高まっているため、多少値段が高くてもなるべく直行便を使うことを推奨します。航空券など多額の費用がかかる準備は、できるだけ状況が確かになってから購入することとし、また購入する場合も、不確実性に備えるため、変更可能のオプションがついているものを購入することをお勧めいたします。
海外旅行保険	大学指定の保険に必ず加入いただきます。 費用は6ヶ月の場合約9万円、12ヶ月の場合約18万円です。 ただし、協定校からの指示や、留学先国のビザ取得要件によっては、別途指定される保険への加入を求められることもあります。欧米の一部の大学では年間50万円以上するような高額な保険への加入が必要な場合があります。詳細は「海外旅行法権」に関するQ & Aの項目を確認してください。
住居費用・生活費	協定校によっては、月3万円程度の協定校の大学寮に住める場合もありますが、民間の宿を使う場合はもう少し割高になります。また、物価の高い各国の主要都市に住む場合は、月10万円以上することもあり、ケースバイケースです。住居の手配は協定校がサポートしてくれる場合があるので、まずは相談して、相場や空き状況を確認しましょう。 その他の生活費(食費、日用品費、通信費など)については、ご自身のライフスタイルや滞在先の物価水準によりますので、ご自身でシミュレーションしてみてください。
諸手続費用	語学能力試験受験料、パスポートやビザ取得に関わる費用、予防接種のための費用、海外送金に関わる費用などが想定されます。 ※新型コロナウイルス等の影響で、健康診断の受診やワクチン接種を求められる可能性もあります。

海外旅行保険について

Q:本学指定の保険はどのような内容ですか？

・本学では、海外における提携病院数が充実しているAIG海外旅行保険を採用しています。
加入案内は  進捗フォームからダウンロードできます。主な保証項目は以下のとおりです。

・加えて、24時間365日日本語対応可能な安心サポートデスクにも合わせて加入します。
安心サポートデスクでは、「体調が悪いので病院を紹介してほしい」「パスポートを紛失してしまったがどうすればよいか」「ATMからキャッシュカードが出てこなくなった」等あらゆる問い合わせに対応します。
費用は6ヶ月の場合約9万円、12ヶ月の場合約18万円です。（渡航年度により変動しますので加入時に確認してください。）

補償項目	保険金額	補償概要
傷害死亡	2,000万円	渡航中に事故によるケガが原因で死亡した場合
傷害後遺障害	2,000万円	渡航中に事故によるケガが原因で身体に後遺障害が生じた場合
治療・救援費用	無制限	渡航中にケガや病気で治療を受けた場合の治療費や、3日以上入院した場合に日本から親族が現地に駆け付けた際の費用を補償。 ※コロナ禍の留学条件のひとつとして、治療・救援費用が無制限のものに加入いただきます。
疾病死亡	1,000万円	渡航中に病気が原因で死亡した場合
個人賠償責任	1億円	渡航中に他人にケガをさせたり、お店の品物を壊して賠償責任を負った場合等
携行品損害	10万円	渡航中に携行したパソコン等を盗まれたり、落下させ破損した場合等
航空機寄託手荷物遅延	10万円	航空機搭乗時、預けた手荷物が到着後6時間以内に目的地に運搬されなかった場合
航空機遅延	2万円	悪天候や機体の異常などの理由で、搭乗予定の航空機が6時間以上遅延したり、欠航・運休となった場合

Q:ビザを取得するにあたって大使館が指定する保険に加入するように言われました。どのようにすればよいですか？

・その場合、その保険に加入してください。ただし、その保証内容が本学が指定する保険（および危機管理サービス）の保証内容を満たしていない場合は、本学指定の保険（および危機管理サービス）にも加入いただきます。

その他のよくあるご質問

Q:必ず休学が必要ですか？

・休学なしで留学できるかどうかは学生それぞれの状況によって異なります。所属学科(大学院の場合は専攻)のカリキュラム上可能かどうか(留学期間中の必修科目の取り扱い、留学先で取得した単位の取り扱い、進級要件、卒業要件など)をしっかりと確認してください。その他、単位取得状況、就職活動や大学院進学への影響(スケジュールを両立できるかどうか)等も考慮する必要もあります。また、留学にはリスクや不確実性(留学先で単位を取得できない可能性や、様々な理由で留学を途中中断して帰国せざるをえない場合等)が伴いますので総合的に判断してください。なお、休学する場合の手続きは、学生課もしくは大学院課で別途行ってください。

(参考) 休学なしで1セメスター留学できた学生の例(研究室配属型の場合)

・4年生や大学院生で、卒業(修了)に必要な授業単位取得の目処がたっており、仮に留学先での成果が本学で単位認定されなかったとしても、卒業(修了)に問題がなかった。また、卒論(修論)指導については、指導教員から遠隔で受けるという許可を得ることができたため、留学先で続けることができた。また、就職や進学についても調整を行い、留学することができた。

Q:休学する場合、芝浦工業大学に支払う学費はどうなりますか？

ご自身の入学年度の「学習の手引き」にて取り扱いをご確認ください。

※過去、所定の手続きを経て学長が認めた場合には休学期間中の維持料に相当する金額を給付する制度(芝浦工業大学海外留学奨励金制度)がりましたが、現在では廃止されていますのでご注意ください。

Q:留学先での成果は、本学の単位になりますか？

・研究室配属型での留学は協定校側から単位が発行されることはあまりありませんが、もし発行された場合は、学外単位認定制度により、帰国後に学生課(大学院課)にて認定申請手続きをしてください。ただし、単位が認定されるかどうかや、認定された場合の単位の取り扱い(どの科目区分で認定されるか、卒業要件に算入されるか等)は審査結果次第で、渡航前には分かりません。

・学外単位認定制度の受付期間や必要書類は学生課もしくは大学院課に確認してください。

説明は以上です。

【お問合せ】

国際部 国際プログラム推進課

study-abroad@ow.shibaura-it.ac.jp

03-5859-7140